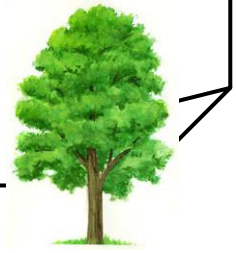




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和6年1月9日(火) No.13 文責 校長 島田 二郎



後期後半(令和6年)が始まりました

今日は後期後半始業日です。今日から令和6年の学校生活が始まりました。今年の干支は「辰」です。「辰」は十二支で唯一想像上の動物です。辰年は、陽の気が動いて万物がまさに動き出し、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年と言われているそうです。今年が活気に満ちた年であることを願います。



さて、年が変わり、今年度も残すところあと3ヶ月となりました。1月から3月を次年度に向けての準備期間として「0学期」とも言います。3年生は入試や卒業式、高校入学等に向けて、1,2年生は今年度のまとめと進級に向けて、それぞれしっかりと取り組み、準備をしてほしいと思います。また、これからの3ヶ月の時の流れの速さを表す言葉として「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」という表現があります。3月末までの登校日数は、3年生は約40日、1,2年生は約50日です。毎年、思うことですが、この3ヶ月は、あっという間に過ぎていきます。ですから、この3ヶ月で、今年度のうちにやりたかったことや、すべきことをやり遂げて、来年度を迎えることができるようにするとよいと思います。

令和6年は穏やかな年となりますように祈ります

「今年も良い年となりますように」と元旦に思っていた矢先の夕方、令和6年能登半島地震がおきました。さらに、翌2日には羽田空港で航空機衝突事故がありました。過去を振り返っても正月にこれだけの災害や惨事が起こったことはありません。正月気分は一瞬で吹き飛んでしまいました。「これ以上の惨事は起こらず、今年が平穏であってほしい」と改めて願います。

今年は、太宰府西中学校創立40周年を迎える年です。これまで多くの方々のご尽力によって、太宰府西中学校は発展してきました。今年も、在校生・職員でよりよい学校づくりに取り組み、保護者の皆様や地域の方々のお借りして、学校をますます発展させ、生徒が成長し輝く学校をめざしていきたくて考えていました。



また、今年パリオリンピック・パラリンピックや北部九州高校総体2024(インターハイ)が開催されます。スポーツのイベントは人々を元気にしてくれたり、勇気を与えてくれます。今年も、様々な祭典やイベント等が開催予定となっており、これらをとおして、多くの感動が生まれ、人々はますます元気になると考えていました。



そのような中、正月早々、大惨事が起き、日本が深い悲しみに包まれました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災された皆様の安全と1日でも早く平穏な生活が戻られることを祈るばかりです。私たちにできることは、まずは、日々の生活で、思いやりをもつことや仲間と協力して活動すること等、できることを行い、一歩ずつ、一日ずつを積み重ね、平穏な日をつくることだと思います。

太宰府西中学校は日々の生活を丁寧に取り組み、充実させることで、令和6年が、平和で穏やかな年となるようにしていきたいと思っています。

ますます太宰府西中学校が発展するよう、職員一同、教育活動に励みます。保護者、地域の皆様、今年もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

